

2017年8月

プレスリリース

笠間市笠間 978-4
公益財団法人日動美術財団
笠間日動美術館

求道の画家 岸田劉生と椿貞雄

Ryusei Kishida and Sadao Tsubaki
2017年10月7日(土) ~ 12月17日(日)



岸田劉生《麗子 毛糸肩掛けして人形を持つ肖像》1919年



岸田劉生《寒山風麗子像》1922-1923年
笠間日動美術館蔵



椿貞雄《彩子とミモザ》1954年 米沢市上杉博物館蔵

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■ 開催趣旨

大正期の写実絵画の異才岸田劉生(1891-1929)とその弟子椿貞雄(1896-1957)。この二人の運命的な出会いは、椿が劉生に教えを請う手紙を出したことから始まります。1914年、画家を志して米沢から上京した椿は、劉生の個展を見て弟子入りを志願し、稀にみる師弟関係を築いていくこととなります。劉生の勧めで巽画会に出品した椿は最高賞を得、鮮烈な画壇デビューを果たします。その後、二人は写実を通して「内なる美」と「日本人の油絵」を追求すべく、草土社の創立に参加し、当時の画壇に新風を吹き込みました。

劉生亡き後、椿は劉生が熱望していたヨーロッパ遊学を果たしたことで、かえって日本を意識するようになります。帰国後、椿は充実した制作活動を展開し、自己の独自性を発揮していきます。特に自身の家族を描いた作品は、従来の暗い色調から一転し、明るく温かいものに変化し「愛情の画家」と呼ばれるようになりました。椿は自らの言葉「画道精進」に象徴されるように、61歳の生涯を閉じるまで写実の道を追求し続け、「日本人の油絵」を成就していきました。

本展では、劉生と椿の作品や書簡など資料類を展示し、二人の絆と追い求めた写実の美に光を当てます。「内なる美」を生み出した劉生と、「愛情の画家」となった椿の軌跡を辿ります。

■ 展覧会構成

第1章 出会い—ともに



1.

1. 岸田劉生「自画像」1913年 笠間日動美術館蔵



2.

2. 椿 貞雄「自画像」1915年 米沢市上杉博物館蔵



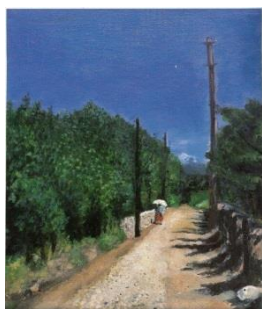
3.

3. 岸田劉生「村娘之図」1919年 笠間日動美術館蔵



4.

4. 椿 貞夫「童女像(毛糸の肩掛けをした菊子)」1921年米沢市上杉博物館蔵



5.

5. 岸田劉生「夏之路(鵜沼海岸)」1922年 笠間日動美術館蔵



6.

6. 椿 貞雄「風景(道)」1915年頃 米沢市上杉博物館蔵

第2章 劉生と椿の日本画



1. 岸田劉生「塘茅菴閑居図」 笠間日動美術館蔵
2. 椿貞雄「画家の家」1935年 米沢市上杉博物館蔵
3. 岸田劉生「猫図」 1926年 笠間日動美術館蔵
4. 椿貞雄「猫の図」1933年 米沢市上杉博物館蔵

第3章 劉生死す一椿の展開



1. 椿貞雄「壺(白磁大壺に椿)」1947年 米沢市上杉博物館蔵
2. 椿貞雄「彩子立像」1954年 米沢市上杉博物館蔵
3. 椿貞雄「桜島」 1956-57年 米沢市上杉博物館蔵
4. 椿貞雄「椿花園(絶筆)」1957年 米沢市上杉博物館蔵

■ 展覧会概要

- ・展覧会名 求道の画家 岸田劉生と椿貞雄
- ・会 期 2017年10月7日(土)～12月17日(日)
- ・会 場 笠間日動美術館 企画展示館(茨城県笠間市笠間978-4)
- ・開館時間 午前9時30分より午後5時(入館受付は午後4時30分まで)
- ・休 館 日 毎週月曜日(但し10月9日は開館、10月10日は休館)
- ・入 館 料 大人1000円、65歳以上800円、大学・高校生700円、中学以下無料
春風萬里荘(北大路魯山人旧居)との共通券：
大人1,400円、65歳以上1,100円、大学・高校生900円、中学以下無料
割引：20名以上の団体は各200円割引、障害者手帳をお持ちの方、
その同伴者1名は各半額割引
- ・主 催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
- ・特別協力 米沢市上杉博物館

- ・後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会
NHK水戸放送局／茨城放送／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社
産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局
読売新聞水戸支局

■ 会期中のイベント

- ・ギャラリートーク 10月21日(土)／11月11日(土)／12月2日(土)各日 14:00～
- ・渡辺克也 オーボエコンサート (要予約・詳細お問合せ下さい)
11月20日(月) 開演 16:00 (約1時間) 場所：企画展示館1F
※当日休館日ですが、ご予約のお客様のみ 15:30 からご入館いただけます。
- ・水彩パステル基礎講座 10月14日(土)：岸田に学ぶ質感表現「果物とガラス器」
11月11日(土)：椿に学ぶ明暗表現「友の肖像」
12月9日(土)：模写体験「ピカソの青の時代」
各日 10:00～15:00 まで
- ・分館 春風萬里荘のイベント
「夢境庵茶会」11月19日(日) 10:00～16:00
席主：緑風庵 池田浜子 料金：500円(お菓子・抹茶付き) ※入館料別途

■ 生誕120周年 佐竹 徳展

パレット館3階で佐竹徳の生誕120周年記念の展覧を開催します。

2017年9月30日(土)～2018年1月14日(日)

年末年始休館日：2017年12月21日(木)～2018年1月1日(月)

■ 交通案内

[JR 利用]

- ・常磐線友部駅北口(9:55/10:50/11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100円)
または市内循環バスで約15分。「日動美術館入口」下車徒歩1分
- ・水戸線笠間駅より徒歩約20分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)
『かさま観光周遊バス』またはレンタサイクルの利用が便利です。

[自動車利用]

- ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道355号線経由約6km
- ・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道50号線経由約8km

[高速バス利用]

- ・『関東やきものライナー』秋葉原(8:20 発)で約2時間弱
「笠間稲荷神社入口」下車徒歩10分(片道1500円往復割引あり)

■ 問い合わせ先（担当：中橋／亀山）

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

TEL：0296-72-2160 FAX：0296-72-5655 MAIL：a-nakahashi@nichido-museum.or.jp

以上